令和４年度　松本市立安曇小中学校　グランドデザイン

学校教育目標　**清らの心と　ひとり立ちできる人間**

【目指す児童・生徒の姿】

	知	仁	勇	
【清らの心】	わきまえ	思いやり	いさぎよい	心をもち、
【ひとり立ち】	かしこく	わけへだてをせず	つよい	人であれ

①学習指導重点

子どもが主体となって学ぶ授業

【研究テーマ】

「児童生徒が自ら問いを持ち
主体的・対話的に解決する授業の創造」

- ○「安曇塾」による授業公開と授業改善の日常化
- ○「安曇ビジョン」による教育理念の共有と実践の充実
- ○「安曇校を語る会」における職員同士の指導力の向上

②生徒指導重点

多様性を包み込む学校・学級づくり

～ひとりひとりの特性に照らした支援の共有と充実～

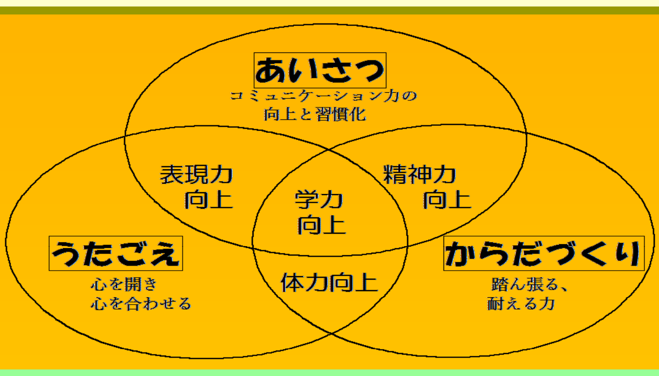
- ○山間小規模校:…個性を活かす支援
- ○少人数を生かしたインクルーシブな教育活動
- ○ひとりひとりにより配慮した生活環境や学習環境の提供
- ○小学校から中学校までの９年間にわたる一環した生徒指導・生活指導

学習活動支援　　**ゲストティーチャー**

小中連携による安曇校づくり

小中合同開催行事

- 運動会
- 安曇祭
- 音楽会
- 児童会・生徒会活動
- 各種週間月間



小中連携研究

- 児童生徒理解
- 小中合同授業研究
- 山間地学校交流教育

専門性のある中学校専科乗り入れ

「そうだ！安曇でがんばろう！
～教職員キャッチフレーズ～

学校教育目標具現のための学校教育改善　安曇三ガク校

安曇「楽」校

自尊感情・自己肯定感を高める
楽しい学びのある学校

- ○自己実現可能な少人数の教育環境
- ○子ども発信！表現を広げる「安曇劇場」（運動会・発表会・集会活動・安曇祭）
- ○人を呼び込み、人から学ぶ講演会の開催
- ○ゴミ出しボランティア
- ○いいら・アルプス学園との交流
- ○美味しい自校給食と食育　　等

安曇「学」校

「主体的・対話的で深い学び」の保障。
個別支援を大切にし、学びによる達成感
実現感を得られる学校

- ○各教科・領域「上高地学習」（小学校～中学校）
- ○小規模校ならではの手厚い指導
- ○中学校職員による専門的な指導
- ○山間地学校交流教育の推進

等

安曇「岳」校

豊かな自然や文化を生かした学校
地域への貢献　自己有用感の育成
～ふるさと「安曇」を誇りに思う子ども～

- ○小中「上高地学習」
- ○山～川～海をつなぐ学習
- ○自然・動植物・人から学ぶ
- ○上高地清掃遠足
- ○乗鞍登山（小）・奥穂高岳登山（中）
- ○職場体験学習・キャリア教育　　等

保護者の願い

- ○上高地学習など地域を学ぶ学習を引き続き大切にしていってほしい。
- ○「こうせねば」より「こうしたい！」が出てくるといいと思う。
- ○特認校制度で子どもの人数が少しずつ増えるとともに、さらに一人ひとりの子どもを大切にした教育を充実させたい。

児童生徒の実態

- ○小中学校とも「学校生活が楽しく充実したものである」と感じている。
- ○素直で純朴な優しさを持つ子どもたち。
- ○固定化された集団による馴れ合いから、対話力や表現力不足、経験不足や発進力の弱さ。
- ○多様な児童生徒による学力や体力の差。

地域の願い

- ○地域の良さ、素晴らしさを体感してほしい。山間地の学校、小規模校の強みを活かして、積極的に課外活動、特に上高地学習をしてほしい。
- ○地域、保護者、学校が、これからの安曇校について思いや教育の方向性を語り合い、お互いに協力し合いながら取り組みたい。